

新 登 録 除 草 剤 一 覧 表

農 林 省 農 蚕 園 芸 局 植 物 防 疫 課
昭和 4 8 年 1 月 1 日 ~ 4 月 3 0 日

分類	種類名	商品名	有効成分の種類及び含有量	剤型	適用作物 適用場所	適用雑草	適用地帯	適用土壌	使用時期	10アール当り		使用方法	登録会社
										使用量	散布液量		
非ホルモン型除草剤	NIP 除草剤	ニップ 水和剤	2,4-ジクロルフェニル-4-ニトロフェニルエーテル 50.0%	水和剤	にんじん だいこん はくさい キャベツ だいず らっかせい 陸稲 芝（コウライシバ、ヒメコウライシバ） 移植水稻	畑地 一年生雑草	全域 春播き地帯 全域 本州 全域 北海道を除く全域	壇土 壇土 火山灰土 洪積火山灰土 壇（砂土、砂壇土を除く）	播種直後 定植後4～8日 播種後 雑草発生前 播種直後	400g ～600	60ℓ ～100	土壌処理 所定量を所定量の水に希釈し、ジョロまたは噴霧機で土面にむらなく散布する	東京有機化学工業
										400			
										～600			
										700～1000			
										200～300			
										600～1200			
										70～100			
										50g ～100			
										100 ～150			
										20 30 ～60 100 ～150 200 200 150 ～200			
DCMU除草剤	DCMU 水和剤	3-（3,4-ジクロルフェニル）-1,1-ジメチル尿素 40.0%	水和剤	陸稲、とうもろこし、麦、らっかせい だいず、あずき ばれいしょ、こんにゃく たまねぎ 面麻（単作） アスパラガス	畑作 一年生雑草				播種直後 播種直後～発芽前 植付後～萌芽前 定植1ヶ月後 定植2～3ヶ月後 子葉展開期 培土後 培土くずし後 萌芽前後期（定植畑（グリーン畑を含む））	50g ～100	100ℓ	土壌全面散布	日本カーバイド工業 三共 北海三共 サンケイ化学
										100 ～150			
										20 30 ～60 100 ～150 200 200 150 ～200			
										20 30 ～60 100 ～150 200 200 150 ～200			
										20 30 ～60 100 ～150 200 200 150 ～200			
										20 30 ～60 100 ～150 200 200 150 ～200			
										20 30 ～60 100 ～150 200 200 150 ～200			
										20 30 ～60 100 ～150 200 200 150 ～200			
										20 30 ～60 100 ～150 200 200 150 ～200			

分類	種類名	商品名	有効成分の種類及び含有量	剤型	適用作物 適用場所	適用雑草	適用 地帯	適用 土壌	使用時期	10アール当り		使用方法	登録会社
										使用量	散布 液量		
非 ホ ル モ ン 型 除 草 剤	DCMU 除草 剤(つ づき)				はっか	畑 作 一 年 生 雑 草			萌芽前	150 ～200			
					茶				雑草発芽 前	100 ～150			
					果 樹				雑草発芽 前				
					桑				雑草発芽 前及び夏 刈り後				
					しょうが				植付覆土 後	75 ～100			
	DPA 除草剤	カヤナ イト粒 剤-5 0	2,2-ジクロ ルプロピオン 酸ナトリウム 50.0%	粉剤	造林地地帯 開きん地	ススキ				1株当り10 ～15g(平 均株径30cm 基準)		スポット 処理 ススキの 出芽期から生育期 にかけて 本剤の所 定量を手 まきまた は散布機 で株全体 にかか るよう に散布 する	昭和電工
		ユニボ ン粒剤	同 上 15.0%	粒剤	林 地 開きん地	ススキ			出芽前～ 生育初期	1株当り30 g(平均株径 30cm基準)		株を中心 にスポット 散布	日本カー リット
									生育期	株径に応じ散 布量を増減す る。		刈払後株 を中心に スポット 散布	
	CBN 除草剤	カルバ イン	4-クロル- 2-ブチニル -N-(3- クロルフェニ ル)カーバメ ート 11.7%	乳剤	麦	スズメノテ ッポウ			播種前ま たは播種 直後	500cc ～750		全面散布	武田薬品 工業
					ななね	スズメノカ タビラ			播種直後 から3葉 期まで				
					れんげ				播種後か ら3葉期 まで				
	ヘキシ ルチオ カルバ ム除草 剤	ローニ ート乳 剤	S-エチル- N-エチル- N-シクロヘ キシルチオカ ーバメート 73.0%	乳剤	てんさい	畑作1年生 雑草	空知地 方を除 く北海 道	火山灰 土	播種前	550cc ～700	50ℓ ～70	土壌処理 土壌混和 ジョロ又 は低圧の 噴霧機で 土壌全面 に散布し 散布後直 ちに土壌 5～10 cmの深さ に均一に 混合する	北海三共

分類	種類名	商品名	有効成分の種類及び含有量	剤型	適用作物 適用場所	適用雑草	適用 地帯	適用 土壌	使用時期	10アール当り		使用方法	登録会社
										使用量	散布 液量		
非 ホ ル モ ン 型 除 草 剤	プロビ ザミド 除草剤	カーブ 水和剤	3,5-ジクロ ル-N-(1, 1-ジメチル -2-プロピ ニル)ベンズ アミド 50.0%	水和 剤	コウライ芝 ヒメコウライ芝	畑地1年生 雑草			雑草発生 前	400g ～600	200ℓ ～300	噴霧機な どで全面 均一散布	三洋貿易
	アジプロ トリ ン除草 剤	メゾラ ニール	2-アジド- 4-イソプロ ピルアミノ- 6-メチルチ オ-1,3,5- トリアジン 50.0%	水和 剤	かんらん	畑作1年生 雑草			定植直後 から20 日間(雑 草発生前 2.3葉期)	300g ～400	70ℓ ～100	全面散布	クミアイ 化学工業 武田薬品 工業
	オキサ ジアゾ ン除草 剤	ロンス ター粉 剤8	5-ターシ ャリ-フチル -3-(2,4- ジクロル- 5-イソプロ ピル)フェニ ル)-1,3,4- オキサジア ゾリン-2- オン 8.0%	粉剤	水 稲 (普通移植)	ノビエその 他水田1年 生雑草およ びマツバイ	関東以 西の普 通期栽 培地帯	砂壌土 増土(極 端な漏 水田は 除く)	移植時(田 植前1 ～3日)	1 kg		荒代後 植代前 に肥料に 粉衣して 土壌に均 一に散布 し混和す る。混和 深は2～ 3cm(混 和時の水 深3cm以 上)	日産化学 工業
	クロメ トキシ ニル除 草剤	エック スゴー ニ粒剤	2,4-ジクロ ルフェニル- 3-メトキシ -4-ニトロ フェニルエー テル 7.0%	粒剤	水 稲	ノビエその 他水田1年 生雑草及び マツバイ	全 域 関東東 山以西 全 域 関東東 山地域	砂壌土 ～増土 (極端 な漏水 田を除 く)	移植前3 日～移植 後8日 (ノビエ 1葉期ま で) 移植後4 ～8日 (ノビエ 1葉期ま で)	3～4kg	3	湛水散布 (土壌処 理)	石原産業 日本農業 薬
	DSM A除草 剤	アンサ ー80	メタンアルソ ン酸ナトリ ウム 80.0%	水溶 剤	芝(コウライシ バ)	メヒシバ, その他畑地 1年生雑草			4～10 月	300g ～500	200ℓ	散 布	キング化 学
	スル ファミン 酸塩除 草剤	リンチ ブレー ト	スルファミン 酸アンモニウ ム 97.0%	板状 (8× 4×0. 5cm) 1片5 g)	林 地 開かん地	雑 木			通 年	立木1本当り 処理部の幹周 10cm当り5 g		立木の地 上部に近 く鋭目 を入れ鋭 目1カ所当 り本剤1 片をはさ みこむ	日本カー リット

分類	種類名	商品名	有効成分の種類及び含有量	剤型	適用作物 適用場所	適用雑草	適用 地帯	適用 土壌	使用時期	10アール当り		使用方法	登録会社
										使用量	散布 液量		
非 ホル モン 型 除 草 剤	塩素炭 酸除草 剤	クサート ルF P 水溶剤	塩素炭酸ナ トリウム 60.0% (セスキ炭酸 ナトリウム3 0%)	水溶 剤	開こん地	ササ、メヒ ジワ、カモ シグサ等 ノギク、ヨ モギ、ハコ ベ等			草木の成 長期	15g ～25	500ℓ	茎葉散布	保土谷化 学 昭和電工 大阪曹達
		クロレ ートS L	10 ～15										
		ダイソ レート A											
混 合 剤	PCP・ リニ ュ ロン 除 草 剤	ハタベ ット水 和剤	ベンタクロ ルフェノール ナトリウム水 化物 73.0% 3-(3,4-ジ クロルフェ ニル)-1- メトキシ-1 -メチル尿素 5.0%	水和 剤	陸 稲	畑 地 一 年 生 雑 草		洪積土 境及び 火山灰 土壌	播種後～ 発芽前	800g ～4500		土壌全面 散布	キング化 学 共 三 共 北海三共 サンケイ 化学
					あずき				750～ 1000				
					麦				1000 ～4500				
					とうもろこし、 らっかせい、だ いず、いんげん まめ				800～ 1000				
					ばれいしょ				播種後～ 萌芽前	1000			
					水稲乾田直播				播種後～ 発芽直 前	750 ～1000			
									堆土～ 堆土				
2,4 P A・M H除草 剤	シヤダ ン	2,4-ジクロ ルフェノキシ 酢酸ジメチル アミン 25.0% マレイン酸ヒ トラジドジェ タノールアミ ン 17.0%	液剤	芝 (コウライシバ)	メヒシバ、 その他雑作 1年生雑草			雑草発生 前～発生 初期	1～2kg ～300	200ℓ	土壌処理 噴霧器等 で均一に 散布する	大塚化学 薬品	
	MC C・ MC P B除草 剤	スエッ プB粒 剤	メチル-N- (3,4-ジク ロルフェニル) カーバメート 20.0% 2-メチル- 4-クロルフ エノキシ酢酸 0.90%	粒剤	水 稲 (普通移植栽培)	ノビエその他 水田1年 生雑草およ びマツバイ	東北以 北	砂境土 ～堆土 (減水 深2cm エの1 /日以 2葉期) 下)	田植後1 0～12 日(ノビ エの1 /日以 2葉期) 下)	3～4kg	湛水散布 土壌兼茎 葉処理	日産化学 工業 日本農薬 北興化学 工業	
			水 稲 (機械移植栽培)			堆土～ 堆土 (減水 深2cm エの1 /日以 2葉期) 下)	田植後2 5～30 日(ノビ エの1 /日以 2葉期) 下)	田植前後 の初期 除草剤と の体系で 使用					

分類	種類名	商品名	有効成分の種類及び含有量	剤型	適用作物 適用場所	適用雑草	適用 地帯	適用 土壌	使用時間	10アール当り		使用方法	登録会社
										使用量	散布 液量		
混合剤	DCP A・N AC除草剤	ワイド バック水 和剤	3,4-ジクロ ルプロピオン アニリド 50.0% 1-ナフチル -N-メチル カーバメート 10.0%	水和 剤	幼成木園	雑草の草丈 30~50cm	一年生 下草 雑草		春期雑草 生育期及 び夏期高 温時	15kg	200ℓ ~400	加圧式噴 霧機で雑 草につく ように散 布する	保土谷化 学工業 クミアイ 化学工業 大日本除 虫菊 北興化学 工業 三笠化学 工業
					かんきつ 苗圃	雑草の草丈 30cm以内				10	150ℓ ~200		
						雑草の草丈 30cm以内							
	DCP A・M PMC 除草剤	メオダ ック乳 剤	3,4-ジクロ ルプロピオン アニリド 25.0% 3,4-キンリ ル-N-メチ ルカーバメ ート 5.0%	乳剤	幼成木園	草丈 30~50cm	一年生 下草 雑草		梅雨あけ の夏期高 温時	3ℓ	200ℓ ~400	加圧式噴 霧機で雑 草に良く つくよう に散布す る	山本農薬
					かんきつ 苗圃	草丈 30cm以内				2	150 ~200		
					りんご	草丈 30cm以内				2	150 ~200		
						草丈30~50cm				3	200 ~200		
						草丈30cm以内				2	150 ~200		
	DCP A・M TMC 除草剤	ロンリ ーフ乳 剤	3,4-ジクロ ルプロピオン アニリド 25.0% メタトリル -N-メチルカ ーバメート 5.0%	乳剤	幼成木園	草丈 30~50cm	一年生 下草 雑草		梅雨あけ の夏期 高温時	3ℓ	200 ~400	加圧式噴 霧機で雑 草に良く つくよう に散布す る	トモノ農 薬
					かんきつ 苗圃	草丈 30cm以内				2	150 ~200		
	NIP ・MC P除草 剤	ニップ Q・P 粒剤	2,4-ジクロ ルフェニル 4-ニトロフ ェニルエー テル 9.0% ペンシルトリ エタノールア ンモニウム 2-メチル 4-クロルフ ェノキシアセ テート 0.90%	粒剤	水 稲	ノビエその他水田1年生雑草及びマツバイ	北海道 (道央 以南)	境土 ~ 境土 (減水 深1cm ノ目以 下)	移植後7 ~10日 (雑草の 発芽期 ノ発盛期)	4kg		湛水散布	東京有機 化学工業
	DMN P・ベ ンチオ カーブ 除草剤	サター ン・フ ォーメ イト粒 剤	3,5-ジメチ ル-4'-ニト ロジフェニ ルエーテル 7.0% S-(4-ク ロルペンジ ル)-N,N- ジエチルチ オカーバメ ート 7.0%	粒剤	水 稲 普通苗移植	ノビエその他水田1年生雑草及びマツバイ	全 域	境土 ~ 境土 (極端 な漏水 田を除 く)	移植後6 ~12日 ノビエ1 ~2葉期	3~4kg		湛水散布 湛水のま ま手まき 又は散粒 機で散布	クミアイ 化学工業 保土谷化 学工業
					水 稲 稚苗移植		関東以 西		移植後7 ~15日 ノビエ1 ~2葉期				

分類	種類名	商品名	有効成分の種類及び含有量	剤型	適用作物 適用場所	適用雑草	適用 地帯	適用 土壌	使用時間	10アール当り		使用方法	登録会社
										使用量	散布 液量		
	ベンチ オカー ブ・M CPB 除草剤	サター ン・ビ ービー 粒剤	S-(4-クロルベンジル)-N,N-ジエチルチオカーバメート 10.0% 2-メチル-4-クロルフェノキシベンゼンエチル 0.70%	粒剤	移植水稻	ノビエ等水田1年生雑草及びマツバイ	北海道を除く全地域の普通期栽培地帯 東北	砂壌土～粘土(減水深2cm/日以下)	田植後7～12日(ノビエ2葉期まで) 田植前後の初期除草剤との体系で使用	3kg		湛水散布 土壌兼茎 葉処理 湛水状態で散粒機 又は手播 きにより 雑草及び 土壌全面 に均一に 散布する	クミアイ 化学工業 日本農業
	ベンチ オカー ブ・ブ ロメト リン除 草剤	サター ン・バ ッロ乳 剤	S-(4-クロルベンジル)-N,N-ジエチルチオカーバメート 50.0% 2-メチルチオ-4,6-ビス(イソプロピルアミノ)-S-トリアジン 5.0%	乳剤	陸 稲 だいず	雑作1年生雑草	北海道を除く全地域 中国以東の地域(北海道を除く) 北海道	全土壌	播種後土壌後	600cc ～800 600 ～800 800～ 1000	70ℓ ～100	土壌処理 (噴霧機 等で土壌 全面に均 一に散布 する)	クミアイ 化学工業 日本農業
	DNO C水溶 剤	DNO Cソー ダ塩	4,6-ジニトロホルソクレゾールナトリウム水化物 75.0%	水溶 剤	亜 麻 〔牧草混播を 含む〕 りんご	タデ、ハコベ、タニソバ、アカザ、オオツメグサ、スギナ、ヤチイヌガラシ、ヤエムグラ、ゴマノハグサ、ノボロギク、ツユクサ、ソバカズラ等			亜麻の草丈が5～10cmの時期 〔クローバー混播の場合はクローバーの本葉1～2葉期〕 冬 期	290g	70ℓ ～90	本剤290gとMCPソーダ塩200g(又はMCPカリ塩100g)を混用し、所定量に希釈して噴霧品などで雑草の茎葉が充分ぬれるよう均一に散布する 被害の存在する地表全面に散布	日産化学 工業

分類	種類名	商品名	有効成分の種類及び含有量	剤型	適用作物 適用場所	適用雑草	適用 地帯	適用 土壌	使用時間	10アール当り		使用方法	登録会社			
										使用量	散布 液量					
殺虫 除 草 剤	ダイア ジノン ・N I P粒剤	ダイア ジノン ニップ 粒剤	(2-イソブ ロピル-4- メチルピリミ ジール-6)- ジエチルチオ ホスフェート 3.0 % 2,4-ジクロ ルフェニル- 4-ニトロフ ェニルエーテ ル 7.0 %	粒剤	水 稻 (普通移植栽培)	ノビエその他水田1年生雑草及び マツバイ、 ニカメイチ ユウ 第1世代	近 以 西の平 担部水 田	砂壤土 〜粘土	移植後5 〜8日	3〜4kg		湛水散布 土壌処理 (本剤及 びダイア ジノンを 含む農薬 の総使用 回数) 4回以内	東京有機 化学工業			
そ の 他	石灰窒 素	粒状石 灰窒素 55	カルシウムシ アナミド 55 %	粒剤	水稲・一般畑作物	(病害虫・ 雑草) 田畑の1年 生雑草				50kg 〜70		散 布	電気化学 工業			
					水 稻	ユリミミズ ザリガニ				40〜60 25〜60 50 〜100		散布後土 壌混和				
					一般畑作物	ネコブセン チュウ										
					桑	カイガラム シ どうかれ病				温湯10ℓ当 り400〜800g		上澄液を 株又は枝 条の基部 に散布す る				
					水 稻 (刈取跡)	(使用目的 ノビエの休 眠状態)				散布後2週間 の平均 気温が 18℃ 前後の 地帯(北 陸)		(適用 圃場) 1週間以 内 湿田及 び半湿 田		稲刈後 1週間以 内	40kg 〜50	散布(土 壌処理)
					同 上											
		カルメ ート6 0	カルシウムシ アナミド 60 %	粒剤	同 上								電気化学 工業			

新登録生育調節剤一覧表

農林省農蚕園芸局植物防疫課
昭和48年1月1日〜4月30日

農薬名	有効成分の種類 および含有量	剤型	適用作物	使用目的	使用時期	使用量又は 希釈倍数	使用方法	登録会社
トルベス90	α-ナフタリン酢酸ナトリウム 90.0 %	水溶 剤	温州みかん(成木)	摘 果	満開後25〜 35日	3000 倍 〜4500 200 〜300ppm	散 布	協和電機 工業
NAA粉末								日本化薬